

## 第 3 回 金剛地区活性化に向けた意見交換会 まとめ

### 1. 開催概要

---

○日時：平成 28 年 10 月 16 日（日）午後 1 時～3 時

○場所：金剛連絡所 2 階大ホール

○参加者：13 名

※オブザーバー：NPO 法人きんきうえび、けあぱる金剛、金剛地区住民 1 名

○プログラム

- ① あいさつ（まちづくり推進課）
- ② これまでのおさらいと今後の流れ
- ③ 金剛地区活性化の取り組みについて
  - （1）将来像及び実現に向けた取り組みについて
  - （2）フリーディスカッション
- ④ その他

### 2. 当日の様子

---



### 3. 主な意見

---

#### (1) 将来像及び実現に向けた取り組みについて

- ・公共施設等総合管理計画の「行動計画」が、今年度中に策定されるようだが、この行動計画では個別の施設の方針を決めることになるのか。  
→現時点では、今年度中に個別の施設の方針を決めるまでに至るかどうかは未定。このような計画は、一定期間で見直しを行っていくものである。今後、金剛地区のまちづくりが進む中で、その内容を計画に反映していくこともできると考えている。今後も、計画の作成状況等について都度報告する。(事務局)
- ・資料5にあるように、駅前や寺池公園を“まちの顔”として再生するには、大阪狭山市との調整等が必要だと思うが、市で調整等を行うことができるのか。  
→協議会委員から意見があったように、まずは住民のみなさんの意見を盛り込んだ指針をつくりたいと思う。ただ、最終的には市で策定するものとなるので、そのときに大阪狭山市との調整等も行うことになると思う。(事務局)
- ・将来像4「住民が育む」について、地区連合会などのコミュニティ組織をつくっていくという取り組みがあってもよいのでは。現状としては、各自治会の組織力が強いわけでもないのので、例えば防犯・防災等で連携しながら取り組むことができればよいと思う。

#### (2) フリーディスカッション

金剛地区活性化の取り組みについて、①駅前、②寺池公園・中央公園、③空き施設を題材として、3班に分かれて、「何がしたいか」「何が必要か」「地域で何ができるか」などの具体的な内容を議論しました。

○：その場所ですりたいことなど ※【】内は、関連する取り組み等（資料5より）

→：「したいこと」を実現するために、地域でできること、必要なことなど

#### ■ 駅前

---

##### ○施設や住宅の導入

【目標 2-3①分譲マンションの建替えや改修、目標 3-1②商業施設の再生、③新たな施設づくり】

##### ①飲食店の充実

- ・地域で仲間が集まれる場所、家族で食事する店、勤め帰りに一杯飲む場所が欲しい
- ・駅周辺で飲食、購買をすることを発想しなくなっている
- ・周辺の住宅地内でも、居酒屋などが十分に流行っている。駅前の需要はあるのでは

##### ②スーパーマーケットが欲しい

- ・関西スーパーまで歩くと少し距離がある。駅で降りてバスに乗り換える時に買い物をするには駅前にあった方がよい

→店舗を誘致する場所がないのであれば、移動販売のようなものでもよいのでは

##### ③若者が住むマンションや、高齢者向けの住宅

→第三住宅の建替えができれば、若い人が入ってくる住宅や、地域の高齢者が住み替えられる住宅や施設が欲しい。

## ○安全、防犯などへの配慮【目標 1-3 防犯・防災の強い安全なまち】

### ①安全、防犯

- ・ 駐輪場のまわりが夜間暗い
- ・ 交番が欲しい
- ・ 道路標示等が消えていたり薄くなっていたりする箇所が見受けられる。行政や公安への情報提供や整備に向けた働きかけが必要

### ②バリアフリー

- ・ 高齢者が利用しやすい施設にしてほしい。エレベーターが少なく障害のある人には不便
- ・ 駐車場から駅までの間に段差が多く、使いづらい

## ○イベント・交流の機会、時間を過ごせる場所【目標 4-2①多世代交流、③地域の魅力発信】

### ①地域交流のためのイベント

- ・ 電車を利用するとき以外にも人が集まる駅前をしたい
- 月1回くらいであれば、われわれ住民で企画してイベントを開けるのでは

### ②立ち寄れる場所、時間を過ごせる場所

- ・ 図書館、公園、カフェなど、時間を過ごしたり人と会ったりできる場所がほしい
- ・ スポーツジム、託児所などがあったらよい
- 気軽に立ち寄ることができるスペースがほしい（管理は地域住民が担える）

### ③富田林市の情報発信

- ・ 富田林駅前にある「きらめきファクトリー」のような、情報発信の場所がほしい
- ・ 市の案内板をもっと立派に、目立つようにすべき

## ○その他

- 駅からの交通手段として、レンタル電動自転車やパーソナルモビリティを充実させる
- 病院、役所、文化施設、イベント広場などが駅前にほしい

## ■ 中央公園

### ○「まちの顔」となる場【目標 3-3③まちの顔】

#### ①入り口付近の造りを工夫して立地や地形の課題を克服した、沿道からの視認性のよい場

- のり面を使った滑り台など、地形を生かして工夫した使い方をする
- 入り口付近の旧ゲートボール広場を活用し、子どもがサッカー等で遊べるスペースをつくる
- ベンチや子ども用の遊具が少ないので増やす（子どもの遊び声が聞こえるようになると、地域の雰囲気も明るくなる）

#### ②多目的に使える場（青少年スポーツホール・プール）

- スポーツだけでなく、福祉や子育てなどの分野でも利用できる、多目的な施設に改修する
- フリーマーケットや宴会が開けるようなスペースをつくる
- プールは、利用していない期間は水を抜き、卓球場など他の用途に使えるようにする

### ○スポーツだけでなく、住民が交流できる憩いの場として活用できる場

#### 【目標 3-3 憩える・楽しむ】

- バーベキュー場など、家族で昼食をとれる場など若年世帯も交流できる環境をつくる

- 芝生を植えてくつろげる場をつくる
- 事業者を呼び、飲食や買い物ができるようにする
- 地域のお祭りやイベントを定期的を開催する

#### ○自分たちの公園と思える場【目標 3-3⑤公共空間を守る】

- 運営等に市民ボランティアを積極的に活用し、運営費の削減に協力する
- 市民でも水やりを手伝えるよう水道の場所の情報などを共有する（市が花壇に花を植えても夏場は水やりの回数が少なく、すぐに枯れてしまっているため）

### ■ 寺池公園

#### ○楽しめる公園づくり【目標 3-3②パブリックスペースを楽しむ】

##### ①ウォーキングコースの整備

- 周回できるコースをつくる。道幅が狭くなっている部分もあるので、道路脇の側溝に蓋をかける等の工夫で、歩行空間を確保する
- 周囲が約 1.5 ㎡メートルであり、狭山池（約 3.0 ㎡メートル）に比べ、誰もが気軽に利用しやすいコースになるのでは
- NPO 団体や近隣の小中学校と連携し、参加型で整備し、公園への愛着を育む

##### ②利用者が使いたくなる、使いやすい公園づくり

- トイレの設置、コンビニ等の便民施設の誘致を行う
- 民間事業者や地域団体にも参加してもらい、土地活用を検討する

##### ③木が生い茂り、大人でも入るのが怖い雰囲気となっているため、安全安心な環境を整備

- 周囲からの見通しが悪く、暗いため、大胆に木の剪定や伐採を行う
- 夜間でも利用できるように街灯を増やす

##### ④大人や子どもが集い、自然の交流が生まれる場

- 自治会等で「みんなが楽しめる」行事を企画する

#### ○水辺の魅力を生かした公園づくり【目標 3-3④景観の魅力向上】

- 水辺に面した平坦な空間を増やす
- 水面が周辺から見えるように、見せ方を工夫する
- 釣りをできるようにする（昔は、フナや鯉などがいた）

#### ○桜並木を守る【目標 3-3④景観の魅力向上】

- 寺池西側の道沿いは、桜祭りなどの開催場所でもある。桜木の樹齢を考慮して植え替えを行う

### ■ 空き施設

#### ○三世代交流の場、自然と誰もが集える憩いの場【目標 4-2①多世代交流】

- NPO 団体などの地域に根ざした団体を設立する（母体となる住民団体を探す）
- 使いやすい階段・スロープなど、バリアフリー化する
- 三世代が集える様々なプログラムや機能をつくる（具体的には、以下の内容が挙げられた）

#### ○子どもの保育の場【目標 1-2①地域一体となった子育て支援】

- 保育士等の有資格者に手伝ってもらえるよう、再活動を支えるしくみをつくる

→現在、自治会で空き施設を活用して子どもが放課後等に立ち寄れる場をつくることができないか検討中（実現すれば、けあばる金剛と連携した世代間交流ができればよい）

○子どもの遊びや勉強のできる場所【目標 1-2②学びの場】

→遊具などを充実させる

→高齢者による昔遊びなど、遊びを教えることができる人材を発掘する

→金剛地区住民で最も少ないであろう大学生の世代に勉強を教えてもらえるようにする（大学と連携、団地に大学生が住んでもらえるようURと連携）

○高齢者等の会食の場・配食の拠点【目標 1-1①買い物などの日常生活を支える】

→ボランティアや元気な高齢者の方が宅配弁当や配膳等をする

（現在、けあばる金剛で募っているボランティア希望者とマッチングできればよい）

○デイサービスと保育が一体となった場【目標 4-2①多世代交流】

○健康相談や体操教室などの健康維持・健康増進の場【目標 1-1③健康維持・健康増進】

→自らが健康相談などを行うことができる

○サークル活動や趣味活動の場（音楽活動、自作作品の販売等）【目標 3-2①趣味や特技を高める場】

○フリーマーケットや朝市などの場【目標 3-1①新たな日常生活のサービス】

→コミュニティカフェなどをやりたい人を募り、活動を支援する

→自らが野菜をつくっている人を紹介する

○買い物施設【目標 3-1②商業施設の再生】

（徒歩圏内の住民が利用しやすい食料品や日用品の揃う店、直産市のような地域野菜等を扱う店、医療品の販売店など）

○特別養護老人ホームなど、高齢者向け福祉施設【目標 3-1③新たな施設】

## ■ その他の場所について

---

・金剛プールを再開すべき

→地区内の各団体と協力して行政に働きかけをする

・団地の空き家を有効活用して、高齢者向けのルームシェアなどに使う

## 4. その他

---

○今後の予定について

・次回意見交換会は、12/17（土）午後1時～を予定。

・10/29（土）午前9時～ 大谷大学大学生とまちあるきワークショップを実施する予定。  
参加希望者は、富田林市まちづくり推進課に連絡いただきたい。

・11/26（土）金剛バルに「金剛地区活性化に向けた意見交換会」メンバーで出店することが決定。出店に向けたミーティングは、11月9日（水）（午後7時～、市役所4階まちづくり推進課）を予定。企画や準備の手伝いなど参加希望者は、富田林市まちづくり推進課に連絡いただきたい。